

第 6 学年社会科学学習指導案

1 単元名 徳川家康と江戸幕府

2 本 時 関所

(1) ねらい 江戸幕府を守るために置かれた関所の学習をとおして、この時代の厳しい統治のようすを理解させるとともに、その裏にある、差別・不合理・矛盾に気づかせる。
簡単な古文書の解読を取り入れ、歴史に対する興味・関心をもたせたい。

(2) 展開

過程	学習活動・学習内容	資料
意欲	1 五街道及び関所の説明 五街道の提示 「伊勢神宮」「日光東照宮」の写真提示 箱根関所跡、栃本関所跡を写真で提示 埼玉県を通る街道と関所	<ul style="list-style-type: none"> ・五街道（教科書） ・伊勢神宮、日光東照宮 ・箱根関所跡、栃本関所跡 (写真) ・近世の街道と関所 (埼玉県史)
課題 把握	2 関所について調べる 「関所のおきて」についての確認 ・手形のある者のみを通すこと。 ・女と鉄砲を特にくわしく調べること。 (入鉄砲出女) ・手形がなかったり、内容に誤りがあると通行できないこと。 ・関所破りは重い刑罰を受けること。 ・通る時間が決まっていること。 ・例外（幕府の役人など）があること。 問題「考えてみよう」を行う ・関所を通行する人々のそれぞれの場合について、予想し、記号で答える。 解答の確認	資料 1 <ul style="list-style-type: none"> ・「関所のおきて」 資料 2 <ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」問題用紙
追究	3 「関所手形」の解読に挑戦 解読に挑戦 ・解読を助けるために、読み下し文をのせておく。 「関所手形」からわかることを発表する。 ・旅行には前もって身分を証明する手形が必要だった。 ・手形には手形所持者の住所・名前・旅行の目的などが書かれている。 ・手形は名主やお寺などが発行した。	資料 3 <ul style="list-style-type: none"> ・関所手形（飯島家 549）
まとめ	4 関所の学習から分かったこと・気づいたことを発表する。 ・関所は、江戸を守るために置かれたものであり人々の便宜は無視された。 ・この時代は厳しい統治の世の中であったこと。 ・差別、不合理、矛盾があったこと。	

(資料案内 第 4 号より)

資料1 「関所のおきて」の内容

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 手形のあるもののみを通すこと。 |
| 2 | 女と鉄砲を特にくわしく調べること。 |
| 3 | 女は女の役人に調べさせること。 |
| 4 | 通る時間は、日の出から日の入までとする。 |
| 5 | 幕府の役人、大名たちは、このかぎりではない。 |

資料2 「考えてみよう」

次の1～7の通行人について、下の記号で答えなさい。

No.	記号	関所を通行する人	通行する人の説明
1		・二人づれ おんな(女)1名 子ども(男)1名	江戸方面から大阪方面へ行く 武士の妻らしい女とその子ども 手形を持っている
2		・二人づれ おとな(男)2名 やじさん、きたさん	大阪方面から江戸方面へ行く お伊勢まいりの帰り道 手形を持っている
3		・二人づれ おとな(女)1名 赤ちゃん	江戸方面から大阪方面へ行く おとな(女)1名と書いた手形を持つ (旅の途中で赤ちゃんが生まれた)
4		・三人づれ おとな(男)3名 本多・大久保・水野	大阪方面から江戸方面へ行く 手形を持っている 武士・幕府の旗本
5		・おとな(男)1名	大阪方面から江戸方面へ行く 手形を持っていないので、関所の裏道 をこっそり通ろうとして発見された
6		・大名行列 (尾張のとのさま)	江戸方面から大阪方面へ行く 手形を持っている 親藩の大名
7		・おとな(男)1名	江戸方面から大阪方面へ行く 手形を持っている 夜8時に関所に着いた急ぎ旅の若い男 母が重い病気のため死にそうである

記号とその説明

記号	記号の説明
・・・	特にかんたんに通行できる
・・・	ふつうの取調べで通行できる
・・・	きびしい取調べをされる
x	通行できない
x x	重いばつを受ける